

# 大田区立新井宿福祉園

## 令和5年度事業計画

### 1. 運営方針

「地域と共にある」

- (1) 利用者の権利と尊厳を守り、一人ひとりの個性と可能性を尊重した支援を行ない、利用者が地域で暮らし続けられることを目指します。
- (2) 利用者等のニーズを把握し、効果的なサービスの提供と効率的な事業所運営に努めます。
- (3) 家族・関係機関・地域社会との連携を図り、利用者の自立を目指した運営に努めます。
- (4) 情報公開等により、透明性の高い運営に努めます。

### 2. 職員等配置計画

正規職員 23名      非常勤職員 6名      嘱託医 2名      専門講師等 2名      合計 33名

### 3. 今年度の重点目標

第5次経営改革プラン項目 III 分野横断的な連携による複合的課題に対する包括的支援の推進			取組時期
1	利用者の社会参加と自立機会の提供	内容 (1) 利用者の「できること」「創造性」「喜び」「幸せ」を中心とした活動の提供 (2) 自主生産品の定期販売活動や、多様な活動を通じた、地域社会とのつながりを感じられる活動の提供	通年
第5次経営改革プラン項目 I 面的支援体制整備の推進			取組時期
2	関係機関との連携強化	内容 (1) 個々の生活環境・障害特性等に合わせた効果的なサービス提供への協力 (2) 事業所・法人内外の職員連携強化に向けた交流企画等の取り組み	通年
第5次経営改革プラン項目 II 地域に根ざした公益的な取り組みの推進			取組時期
3	安心・安全のまちづくりへの参加	内容 (1) 「地域に出向き、地域を招き入れる」交流活動（新井宿地区スペシャルデー、小・中学校との交流企画等） (2) 地域防災活動等への参加	通年
第5次経営改革プラン項目 IV 福祉人材の確保・育成・定着			取組時期
4	サービスの質の向上と人材育成	内容 (1) 事例検討を通じたチーム支援力と専門性の向上 (2) 計画的な研修実施とキャリアパスに応じた人材育成	通年

#### 4. 利用者受入計画

在籍	43名	新規利用者	1名	定員	40名
年間開所日数	239日	利用率目標	82.8% (昨年度比 +0.1)		

#### 5. 年間行事計画 (詳細別紙)

4月	入所式 子どもガーデンパーティー	10月	宿泊訓練(分散型) 近隣施設・学校訪問活動
5月	グループ外出	11月	新井宿地区スペシャルデー 入二小作業体験交流会
6月	グループ外出 グループ懇談会	12月	利用者自治会企画活動 年末コンサート
7月	宿泊訓練(分散型)、グループ外出	1月	二十歳を祝う会、個別外出
8月	宿泊訓練(分散型)、大森三中運動 交流会、利用者自治会企画活動	2月	個別外出 民生児童委員懇談会
9月	宿泊訓練(分散型)	3月	個別外出、利用者自治会企画活動 ボランティア懇談会

#### 6. 第5次経営改革プランに沿った事業所計画

##### I. 面的支援体制整備の推進

	実施項目	具体的内容
1	相談支援、地域生活支援、介護事業等との連携強化	(1)関係者会議等の参加による、複合的課題への対応力向上 (2)アウトリーチ活動等、利用者特性に合わせた個別支援の継続 (3)関係機関と連携し、地域生活支援の継続的实施
2	日中活動の場の整備	(1)区立事業所としての機能見直しと事業拡充 ※区・整備計画と連動 (2)仮移転に向けた活動プログラム等の検討
3	分野を超えた連携による支援体制の整備	(1)法人内他事業所との連携強化 (2)専門支援に特化した事業所・人材との関係形成

##### II. 地域に根ざした公益的な取り組みの推進

	実施項目	具体的内容
1	地域行事の開催	新井宿地区スペシャルデー(実行委員会・各種小委員会)
2	地域交流行事 (まちづくり参画)	(1)地域まつり・自治会活動への参加、準備協力 (2)近隣小中学校・児童館等との交流活動 (3)環境美化活動(利用者を中心とした参加)

Ⅲ. 分野横断的な連携による複合的課題に対する包括的支援の推進

法人統一標語「しない させない 人権侵害・法令違反」の周知・徹底

	実施項目	具体的取組
1	利用者の人権尊重・権利擁護と虐待防止	(1) 事例検討の実施と、寄り添う伴走型支援の推進 (2) 事業所虐待防止・人権委員会の定期開催と取り組みの推進 (3) 個別支援計画サイクル管理に基づく虐待防止・身体拘束適正化の点検作業 (4) 法人の諸規程やサービス提供ガイドライン等の運用推進
2	安心・安全体制の充実	(1) 感染症対策・予防的観点の健康管理プログラム等の検討 (2) 定期防災訓練・緊急時対応訓練の実施 ※業務継続計画(BCP) ・「危機管理対応マニュアル」の運用および推進につなげる (3) 福祉避難所開設訓練等の検討および準備
3	苦情解決	(1) 「苦情解決制度に関する要綱」に基づき適切に対応 (2) 苦情対応研修の実施

Ⅳ. 福祉人材の確保・育成・定着

人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修計画

	実施項目	具体的取組
1	OJT・職場内研修	(1) 各種規程を活用し、キャリアパスに応じた業務引継ぎ・OJTの実施 (2) 職場内研修の計画と実施 ※虐待防止・権利擁護・障害特性・支援技術・危機管理・感染症対策・保健衛生等
2	外部研修	(1) 職種・階層に合わせた研修および講師派遣 (2) 他法人・他分野の先進事例等の見学、事業所間交流研修
3	自己研鑽支援	(1) 資格取得支援制度の周知徹底 (2) 研修等の情報提供、書籍等の購入・回覧・貸出
4	福祉人材受入	(1) 相談援助実習 (2) 保育実習 (3) 介護等体験 (4) 職場体験 (5) ボランティア (6) 法人説明会、インターンシップ
5	各種マニュアル運用	(1) 「ほっとマニュアル」を活用した間接業務の平準化等 (2) 危機管理対応マニュアルの活用・運用の定着化

V. 社会の動向を踏まえた持続可能な経営基盤づくり

	実施項目	具体的取組
1	働く環境の整備	(1) 各種規程、手引き等の見える化や共有機会の設定 (2) 勤務形態、間接業務遂行時間の見直し (3) 職員相談窓口等の活用と職場内コミュニケーション拡充 (4) ICT の活用検討と、間接業務軽減・改善の実施 (5) 安全衛生活動による健康管理、メンタルヘルス等の推進 (6) ハラスメント防止および法令遵守対応の推進
2	個人情報保護	「個人情報保護規程」および「特定個人情報取扱規程」に基づいて適切に対応
3	安定的な事業運営	(1) 業務継続計画（BCP）の整備 (2) 運営・経営損失等に関するリスクマネジメントの実施

**福祉サービス第三者評価受審結果を踏まえた改善活動(令和2年度受審)**

○特に良いと思われる点

タイトル1	地域社会との連携でボランティアに協力してもらい、利用者の活動の場を広げて事業所の存在意義をアピールしている。
タイトル2	利用者の主体性を引き出すためのコミュニケーションツールの活用により、利用者の意欲につなげている
タイトル3	個別支援計画の作成手順が明確になっており、担当職員それぞれが立場・役割を担っている。

○さらなる改善が望まれる点と改善取り組みについて

タイトル1	キャリアパスに基づく育成計画を実践し、職員のスキルアップと事業所が求める人材育成が期待される
内容	OJT およびキャリア育成計画の伴走型実施による成長機会を確保し、ソーシャルワーク実践スキル向上だけでなく、人間関係形成力や接遇力、寛容さ（ユーモア）を育みあえるよう努めていく。
タイトル2	相手を育てて自分も育つ、ケアリング力向上と職場の中心になるコア人材の育成が求められる
内容	組織の心理的安全性を高め、職員～事業所・法人の在り方を全員が話しあえるような機会の設定と確保を継続していく。
タイトル3	利用者の地域生活を見据えて、一人一人に合わせたコミュニケーションの取り方のさらなる工夫が求められる
内容	利用者のライフステージ合わせた、社会参加と自立機会の創造と、利用者の意思（望む生活の中で、何を欲しているのか、何を伝えようとしているのか）を汲み取り、反映させる支援に力を入れていく。

別紙添付 令和5年度年間予定表